

○事業所名	よこはま港南地域療育センター（児童発達支援センター）			
○保護者評価実施期間	令和7年11月17日		～	令和7年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	164	(回答者数)	144
○従業者評価実施期間	令和7年12月18日		～	令和8年1月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	14
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【適切な支援の提供】個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成	実際のこどもの様子をもとに、初期・中期・終期と定期的にあセスメントを行う会議を設け、こどもと保護者のニーズや課題についてを施設長をはじめとした専門職種やクラス担任を交え客観的な分析に取り組んでいます。	日々の療育の中でのこどもの様子や親子登園日や懇談・面談での保護者のニーズを日常的に把握することを継続し、客観的に分析した個別の児童発達支援計画の作成について充実を図ります。
2	【環境・体制整備】生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境となっており、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切	生活空間については、こどもにわかりやすく、障害特性に合わせたロッカーの配置やスイッチカバーや柵の鍵など安全に使えるようにバリアフリー化を図るとともに、クラスにおいて、パーテーション等仕切りの配置を工夫して、机・椅子など個々が集中しやすいような環境設定に取り組んでいます。	こどもにわかりやすく構造化された環境の構築として、保護者とともに子どもが気づきや理解しやすいようにしている取り組みについて、より多く共有化を図れるように、掲示物での情報伝達だけでなく、タブレット端末等、デジタル機器を活用し、家庭地域生活に繋げやすい方法を検討、導入しながら、時代に合わせた支援に努めています。
3	【保護者への説明等】定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信	定期的にHPやSNS等による通信等を発行するため、マチコミアプリを活用して、天候不良等による緊急の休館情報など連絡体制に留まらず、毎月のおたよりとして活動概要や行事予定をはじめ、園長だよりや食育だよりなどセンター内におけるさまざまな情報を発信しています。	定期的な発信を継続して、地域における社会資源を活用した社会参加と余暇支援に関する情報が発信できるように、障害者スポーツ文化センターであるラポールと連携を図ります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【保護者への説明等】事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営	事業所の行事として、地域の保育園・幼稚園・学校・児童発達支援事業所等と見学会やオープンデーの開催をとおして連携を図っているが、地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営が行われていないため、近隣地域との関係が希薄となっている。	地域の保育園・幼稚園の関係者へ提供している療育セミナーやオープンデーなど療育を知る機会の開催をとおして、地域の方々に取り組みや活動の内容を広く知っていただくとともに、地域における社会資源に関する情報収集とおしてボランティアの受け入れ等工夫できればと考えられる。
2	【関係機関や保護者との連携】保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会	保育所や認定こども園及び幼稚園等との交流の機会がないため、地域の中で他のこどもと活動する機会を設けていない状況です。職員や関係スタッフとして、交流の機会があればと思う反面、保護者のニーズについても把握できていない状況です。	地域の中で他のこどもと活動する機会については、地域と併用しているお子さんが多いため、他の施設との交流の難しさがあるが、園訪問や療育参観の際に担任の先生から地域での集団の様子を知ることから取り組むことができると考えられます。
3			

事業所名	よこはま港南地域療育センター (児童発達支援センター)					公表日	令和8年3月30日				
						利用児童数	164名				
								回収数	144		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	133	10	1	0	・少数なので問題なく、子どもの特性にあったスペースがあり、子どもが過ごしやすいと思う。 ・親子日だとスペースが狭く感じ、スペース同士の区切りが不安定なことがある。	安全を確保してスペースで区切ります。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	131	11	1	1	クラスの状況や子どもたちの状態により、大変そうと感じる時がある。分離日は職員が3人以上の方が安心です。	一部のクラスですが、スタッフの増員やボランティアを配置し、安全な療育の確保に取り組んでいます。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	143	0	0	0	・バリアフリーで大人も子どもも過ごしやすい。 ・手順書など、様々な工夫を感じる。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	143	1	0	0	・パーティションなど一人になれる空間も確保されている。 ・館内がとてもきれいで快適。				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	140	2	1	0	・特性を理解してもらっている。 ・様々な職種の方が関わっており、安心感がある。	療育プログラム後の検査や訓練の実施について、こどもの状態に対応できるように取り組みます。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	140	3	0	1	・少しずつ目標達成に近づけるようになっている。 ・専門的でわかりやすい支援内容				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	143	0	0	0	・保護者の要望をわかりやすく言語化してくれている。 ・子供の特性を正しく捉えている。				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	142	2	0	0	・問題なく設定されている。 ・専門的でわかりやすい。				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	143	1	0	0	設定はされているが、何が達成できるのか特に成果が見えにくい。	計画に沿った支援内容について説明を行います。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	129	14	0	1	子どもたちの様子を見て次回の工夫点を考えてくれる。				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	73	18	32	21	・なくても特に問題なし。 ・芋ほりでの他の方との交流が印象的				
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	139	5	0	0	・1つずつ丁寧に説明されている。 ・初回の説明会で丁寧に説明され、わかりやすかった。				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	141	0	1	2	個人面談の際に1項目ずつ丁寧に説明され、わかりやすかった。				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	139	2	0	3	初回の説明会で丁寧にわかりやすく説明され、普段通園に同行しない家族のための参加企画や保護者向けの勉強会などが定期的にある。	家族支援プログラムへの参加を通して、得るものがある機会となるよう検討します。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	141	3	0	0	困りごとやまだ出来ないこと、また何か出来るようになったことなどはじめ、日々の様子を個別に細かく伝えられ、ありがたい。				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	141	3	0	0	面談が定期的であり、相談しやすい。また、面談の時に限らず、困った時には相談して助言をもらっている。				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	137	7	0	0	親では気づきにくい子の特性を客観的に捉えて、アドバイスもらえるので、大変助かる。また、大変なことや困っていることに対して、共感してもらえ、アドバイスもくれる。				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	87	32	6	19	保護者同士の交流の機会はあるが、兄弟児向けのイベントや交流がないため、兄弟同士の交流があれば、新たな情報交換の場として活かせることも多いと思う。	きょうだい児のあずかり対応については、開始準備に取り掛かっているため、イベントの開催等による交流機会が設けられるように支援を検討します。			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	131	4	0	7	不安に感じていることを相談した際に、その内容にあつような講義を紹介してもらえた。細かい気遣いや声掛けがあると感じる。	相談や申入れがしやすい環境を目指したいと思います。			
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	139	2	0	1	・写真や目印など分かりやすくしてもらっている。 ・よく頑張っていると思う。 ・相談事にきちんと対応してくれている。				

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	118	13	0	11	・プライバシーは守られた上で、活動の様子が知ることができている。 ・アプリでの配信があり、とても良い。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	140	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	133	6	0	3	定期的に火災や不審者を想定した訓練が実施されている。防災訓練に参加でき、実践的で良かった。	訓練を実施するとともに、マニュアルについても、保護者と共有を図りたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	136	1	0	5	・防災訓練に参加できた。 ・実践的で良かった。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	136	3	0	3	万が一侵入者が来た時の避難教室も周知されており、避難経路の説明がきちんとあり、わかりやすかった。	安全を確保するための取り組みについて周知を図ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	126	5	0	11	事故がおこっているのを見たことがない。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	140	2	0	0	最初は親子分離の度に泣いていたが、職員に支えられて、今では安心して分離できる。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	130	11	0	1	先生にやさしくしてもらえるので、毎週楽しく通っている。	
		事業所の支援に満足していますか。	138	4	0	0	・子どものペースに合わせた支援や課題づくりに満足している。 ・色々とサポートしてもらい助かった。	

事業所名		よこはま港南地域療育センター (児童発達支援センター)		公表日		令和8年3月30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	1	・子供の特性に合わせレイアウトを変更 ・用途に応じスペース確保 ・概ね6人定員でちょうど良い面積 ・構造化しやすい環境(ロッカーの配置、棚のロック、各部屋のサムターン鍵等)		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	2	クラスの形態や子の課題に対して、効率よく取り組めるように運営し、必要に応じて、園長やフリースタッフ等クラスフォローに入って運営している。	介助や個別対応が必要な児がいるクラスでは、担任2人では足りないため、応援配置で対応	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14	0	障害特性に応じた環境設定に取り組んでいる。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	14	0	定期的にクラス単位及び共有場所を含め安全管理について話し合う機会を設けている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14	0	適宜、パーティションや仕切り板を用いてパーソナルスペースが設定できるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	3	日々のクラス運営や業務など、ミーティングの中で活動の目標・目的を決め、振り返り、次回の目標を設定して取り組んでいる。	業務改善について話しあう機会があるが、業務改善、業務の優先順位の考え方の職員間での共有が難しい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0	保護者の意見を把握できるように、アンケートや親子日の懇談や面談等での聞き取りを行い、クラスに反映している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	1	クラス運営に関する意見・反省点・改善点などを共有し業務に生かしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14	0	評価結果に基づいて必要な改善に取り組んでいる。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	1	法人及びセンターにて内部研修の機会が設けられている。また、保護者が参加する講座などにも参加出来る機会があり研修の意味合いになっている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14	0	法人として、児童発達支援センターの共通支援プログラムを、ホームページに掲載している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14	0	定期的にクラス担任、専門職種、施設長と子ども一人ひとりの初期・中期・終期と実際の様子をもとにアセスメントを行い作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	0	計画作成に際して、カンファレンスを行い、施設長以下、児童発達支援管理責任者、チーフ及び担任、専門職等が特性を踏まえ支援内容を検討している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	0	カンファレンスを通して、共有・共通理解のもとに関わっている。また、日々の記録は目標と支援内容を常に確認しながら記入する形で作っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	1	心理や言語などの個別の発達検査といったフォーマルなアセスメントや、状況を多職種とミーティングをとり、行動観察による各種評価で確認している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	0	各項目に沿って、目標を立て、具体的支援を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	1	リーダーが立案、適宜チーフとの相談や必要に応じ多職種に助言を求め、他クラス及び通園全体で共有して内容を立案している場合もある。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	1	定期的に他クラスとプログラムの共有を図り、時期や年齢に応じバランス良くバリエーションを広げるように工夫している。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14	0	必要な個別・集団活動の比重はお子さんにより異なるため、児に合わせて計画を工夫し支援している。	クラスにより、検討内容が多岐にわたるため、支援計画の作成時間や業務負担が大きい点が改善点
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	0	日々ミーティングを行い共有しチームとして連携して支援している。	短時間勤務のスタッフとの打合せや振返りの時間の確保に工夫が必要
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	0	様子の確認と対応を検討して、次への支援に必要な点を改善するために、振り返りを行っている。	十分な時間がとれない日もあるのが現状のため、工夫と改善が必要
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	0	個別の記録に加え、グループの記録としてクラスのプログラムの活動記録をとり、振り返りや工夫をしやすいようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	0	初期、中期、終期のカンファレンスと個別療育での保護者との面談を通して、適切に見直すようにしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	0	園長やチーフなど保護者も含め家族に関わる職員が参加し、必要に応じ担任や適宜ソーシャルワーカーにも同席を要請し連携を図っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	0	必要時の書面・電話・訪問・見学・カンファレンス等の支援に加えて、療育参観や療育セミナー等で多職種とも連携して支援している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0	療育参観や園訪問等の形で支援内容の情報共有を行っている。また、保護者や機関の希望に応じて電話等で相互理解を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0	就学に際し、ほぼ全ての学校と引継ぎを実施	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	10	4	相談支援事業で関係機関向けの施設見学やレクチャー等を行っている。	地域の事業所との連携はまだ限られているが、今後より広がっていくことがのぞまれると思う。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	12	2	研修の情報や内容を共有し、外部研修に参加しやすいように業務調整を行っている。	カンファレンスでフィードバックを受け、保護者と共有の上、子どもへの対応に活かしている。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9	5	地域支援検討班メンバーが協議会への参加	担任は積極的な参加の機会は得られにくいですが、多職種からの情報を共有
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	12	園訪問の中で担任と関わる機会があるが、地域の子どもと活動する機会はない。	職員にとって機会があればよいと思うが、地域と併用している利用児が多く、他施設との交流が難しく思う。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	0	親子登園日を定期的に設定し、子供の発達状況や課題について共有している。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	1	親子登園日に対応を共有し、実践する機会を設けている。保護者教室や家族参観等の行事懇談の内容を工夫し、情報交換することを意識している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	0	入園説明会、保護者連絡会を通して、定期的に支援プログラム等丁寧に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	0	こどもの意向を行動から推測し、親子登園日や個別面談等において保護者と確認し共有の機会を設けている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14	0	面談での目標・支援内容・振り返りについての説明を通して共有する場を設け、保護者の思いや意見を書面で確認している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0	・親子登園や個別面談を定期的に設定し、家庭や地域での困りごとの相談に応じている。 ・適宜電話での相談にも対応している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12	2	定期的に親の会主催による保護者交流会を開催する機会を設け支援をしているが、きょうだい同士で交流する機会は設けられていない。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0	相談・申し入れがあった場合は、聞き取りを行い、保護者に了解の上、園長と共有し迅速に相談対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14	0	マチコミアプリを活用し、情報を発信したり、緊急時の連絡を一齐に配信できるようにしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0	個人情報についての認識の共有を毎年行っている。	

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0	意思の疎通や情報伝達の配慮は、言語だけでなく視覚的に分かりやすく伝えていることを意識している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	11	地域に開かれた事業運営は、保育園・幼稚園・学校・児童発達支援事業所等との連携や施設見学を行っている。	地域ボランティアの受け入れ等工夫できればと思う。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	1	年度当初にセンター全体でマニュアル確認等研修の実施、毎月の避難訓練、時期に合わせて感染症対応を確認する機会を設けて実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	1	BCPを策定し研修を実施し、非常時に備え毎月の避難訓練や迷子捜索訓練をセンター内で行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14	0	入園時書類の健康質問票をもとに、担任の事前把握、看護師が一括して管理している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	0	入園時の書類にて聞き取っている。	軽度のアレルギーの子は保護者からの聞き取りによる。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	1	遊具の遊び方、砂場の消毒、プール利用時の安全管理など、利用者ハンドブックにて保護者に周知している。	安全計画について職員への周知等が不十分
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	3	利用者ハンドブックでの保護者周知のため、安全計画としての取組内容について保護者への周知はできていない。	安全計画について利用者への周知が不十分
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14	0	ヒヤリハット事由があった場合、再発防止に向けて、毎朝のミーティング内で確認する機会を設けている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	1	研修を毎年実施し、毎月、虐待防止委員会を開催し、センター全体で虐待防止について取り組んでいる。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12	3	年度初めにセンター全体で共有する研修の機会を設けている。安全確保のためにやむを得ず対応として行う場合は、必ず事前に保護者に理由を説明し、同意を得たうえで行っている。	利用児に対して身体拘束が必要な場面がなく、保護者への書面記載はない。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	よこはま港南地域療育センター 保育所等訪問支援			
○保護者評価実施期間	令和8年2月10日		～ 令和8年2月10日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	令和8年2月12日		～ 令和8年2月12日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○訪問先施設評価実施期間	令和8年2月11日		～ 令和8年2月11日	
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	1	(回答数)	1
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	相談開始からの経過を経て、成長段階に応じた継続的な支援の一部として、この事業の利用を提案できること。	対象児の年齢や発達段階に応じて、家庭と並び、主たる生活の場である園への支援として、乳児期ではなく集団活動が求められる比重が増えつつある幼児期後半に本事業を実施している。事業の導入前、後に継続的な支援体制が整っている。	次の発達段階における支援で何が必要か、どのように児の特徴をとらえ言語化して、次の支援者に伝えていけばよいかを、訪問施設と共に考えることの定例化を図りたい。
2	日頃の地域支援事業の中で培った他機関との連携における信頼関係があり、また機関の現状についてのアセスメントを有している中で、より良い支援方法を提案できること	家庭、機関など環境のアセスメントを常に更新していること、柔軟に今できることを提案できる発想力、生活の場を常に想定しながら支援を組み立てる視野の広さを持つことを心掛けている。	福祉職であるソーシャルワーカーと、医療職である各種セラピスト、心理士、保育士、指導員などがそれぞれの強みを活かして話し合い、共に地域支援に携わる体制づくりを、整えていく予定である。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	高頻度での実施の難しさ。	当該事業の人員が予算化されておらず、センター内での運用で実施している。	市や法人に対して、必要な人員の予算、確保を求めていく。
2	事業を担う人材育成	多角的で的確なアセスメントを基にした具体的な対応の助言に関しては、一定の知識・技術・経験を有する。そのような人材育成の体制を構築していくことが課題である。	児童発達支援施設内での支援の経験、園訪問・巡回相談などの経験など、計画的に事業を担う人材を育成していく。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 よこはま港南地域療育センター
保育所等訪問支援

公表日 令和8年3月30日

利用児童数 1名

回収数 1名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	0	1	0	0	園での過ごし方ではいろいろな助言をいただきましたが、具体的な教材の提示はなかったかもしれません。	
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1	0	0	0		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	1	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	1	0	0	0		
適切な 支援 の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	1	0	0	0		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1	0	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	1	0	0	0		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1	0	0	0		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0		
保護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1	0	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1	0	0	0		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	1	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1	0	0	0		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	0	0	0	臨時でも面談を設定してもらうことができ、訪問のみならず継続的な支援をもらったと感じています。	園訪問の報告だけでなく、家族間でのお子さんへの関わり方のすり合わせについて相談ニーズがありましたので、臨時でも面談対応をいたしました。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1	0	0	0		
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0			

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	1	0	0	0		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	1	0	0	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	0	0	0		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	0	1	0	0	そのような機会がありませんでした。	事業所内に通所していただいた時の緊急時対応はしていますが、訪問時の対応について今後確認します。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1	0	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	1	0	0	0		

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

よこはま港南地域療育センター
保育所等訪問支援

公表日 令和8年3月30日

利用児童数 1名 回収数 1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1	0	0	難しいと思っていた身辺自立の教え方について、具体的な助言を取り入れ実行できた部分があり、参考にできました。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1	0	0		
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	1	0	0		
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1	0	0	本児の楽しめることを取り入れ、次の課題を確認しながら、一歩ずつ支援できました。	
5	事業所からの支援に満足していますか。	1	0	0		
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
発達が気になるお子さんを多く受け入れており、クラス運営にも苦心する中で、本児を通じて他でも般化できるようなヒントも得ることができましたので、今後活かしていきたいと思っております。					日頃より、連携を図らせていただきありがとうございます。今後とも、対象児のみならずその置かれた環境をよく観察して、取り組みやすい助言、提案ができるよう努めて参ります。	

事業所名		よこはま港南地域療育センター 保育所等訪問支援		公表日	令和8年3月30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1	0		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	0		
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	1	0	訪問担当に対するSVを行える職員が同行し、 支援の向上に努めました。多職種のアセスメ ントも取り入れ、チームで取り組みました。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	1	0		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	1	0		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	1	0		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	1	0		
適切 な支 援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	1	0		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1	0		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	1	0	作成する際に、保育園の園長、担任にも作成 案を示して、意見を取り入れるようにしまし た。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	1	0		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	1	0		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	1	0		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	1	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	1	0	保育所等訪問を初めて担当する職員だった 為、事前、事後ともにSV担当と確認して丁寧 な支援を行いました。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	0		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	1	0		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	1	0			
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	1	0			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	0		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	0		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	0		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	0		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	1	0		
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	0		
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	1	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	1	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	1	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	0	保育所等訪問支援事業としては、他の保護者と交流する機会を設けることができませんでした。	療育センターの短期的集団療育を利用する提案をして提供できたので、そちらで他の保護者と交流する機会を持つことができました。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	0		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1	0		
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	1	0		
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	1	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1	0		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	1	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1	0		

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	1	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	0		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	0		